

# 第四次宮崎県環境基本計画 (令和5年度3月一部改定) について



令和5年7月25日(火)  
日向保健所  
衛生環境課 環境対策担当

# 宮崎県環境基本計画の策定等の経緯

平成8年3月 宮崎県環境基本条例 制定（平成8年4月施行）

第1条（目的） この条例は、環境の保全について、基本理念を定め、並びに県、事業者及び県民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

第9条（環境基本計画） 知事は、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、宮崎県環境基本計画を定めなければならない。

平成9年3月 宮崎県環境基本計画 策定（平成13年3月改訂）

平成18年3月 宮崎県環境基本総合計画（第二次）策定

平成23年3月 宮崎県環境計画（第三次） 策定（平成28年3月改訂）

令和3年3月 第四次環境基本計画 策定

- ・「持続可能な開発目標」（SDGs）の提示
- ・温室効果ガス削減等に向けた「パリ協定」の発効
- ・「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ」首相表明

令和5年3月 第四次環境基本計画

- ・「地球温暖化対策の推進に関する法律」改正
- ・国の地球温暖化対策計画の改定
- ・2030年度の温室効果ガス排出削減目標を  
2013年度比26%削減から46%削減へ見直し

一部改定

脱炭素化に向けた国の動きに対応

# 第四次宮崎県環境基本計画の策定等の趣旨

## 計画策定等の趣旨

県では、平成28年3月に「宮崎県環境計画」を改定し、環境問題に対処するための施策を計画的に推進してきましたが、温室効果ガス削減に向けた国際枠組み「パリ協定」の発効や菅首相による「2050年温室効果ガス実質ゼロ」宣言など、情勢は変化し、環境問題は複雑かつ多様化してきています。

このため、令和3年3月に「第四次宮崎県環境基本計画」を策定し、脱炭素社会や循環型社会、自然共生社会の実現に向けた取組を進め、本県の恵まれた環境と自然豊かな郷土を将来の世代も享受できる持続可能な社会の構築を目指すこととしました。

また、策定以降の国の脱炭素化に向けた動きに対応するため、令和5年3月に計画の一部を改定しました。

## 計画の期間

令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間

## 目標すべき環境像

ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき

## 令和12（2030）年度の温室効果ガスの削減目標

平成25（2013）年度比 50%削減



# 「ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき」

## 分野別の施策の展開

### ◆脱炭素社会の構築

- 温室効果ガス排出削減
- 再生可能エネルギー等の導入促進
- 二酸化炭素吸収源対策
- 気候変動への適応

### ◆循環型社会の形成

- 4 Rの推進
- 廃棄物の適正処理の推進
- 食品ロスの削減
- 環境にやさしい製品の利用促進

### ◆地球環境、大気・水環境等の保全

- 地球環境、大気環境の保全
- 水環境の保全
- 化学物質対策
- 環境負荷の低減等

### ◆生物多様性の保全

- 生物多様性の確保
- 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり
- 自然豊かな水辺の保全と創出
- 自然とのふれあいや配慮

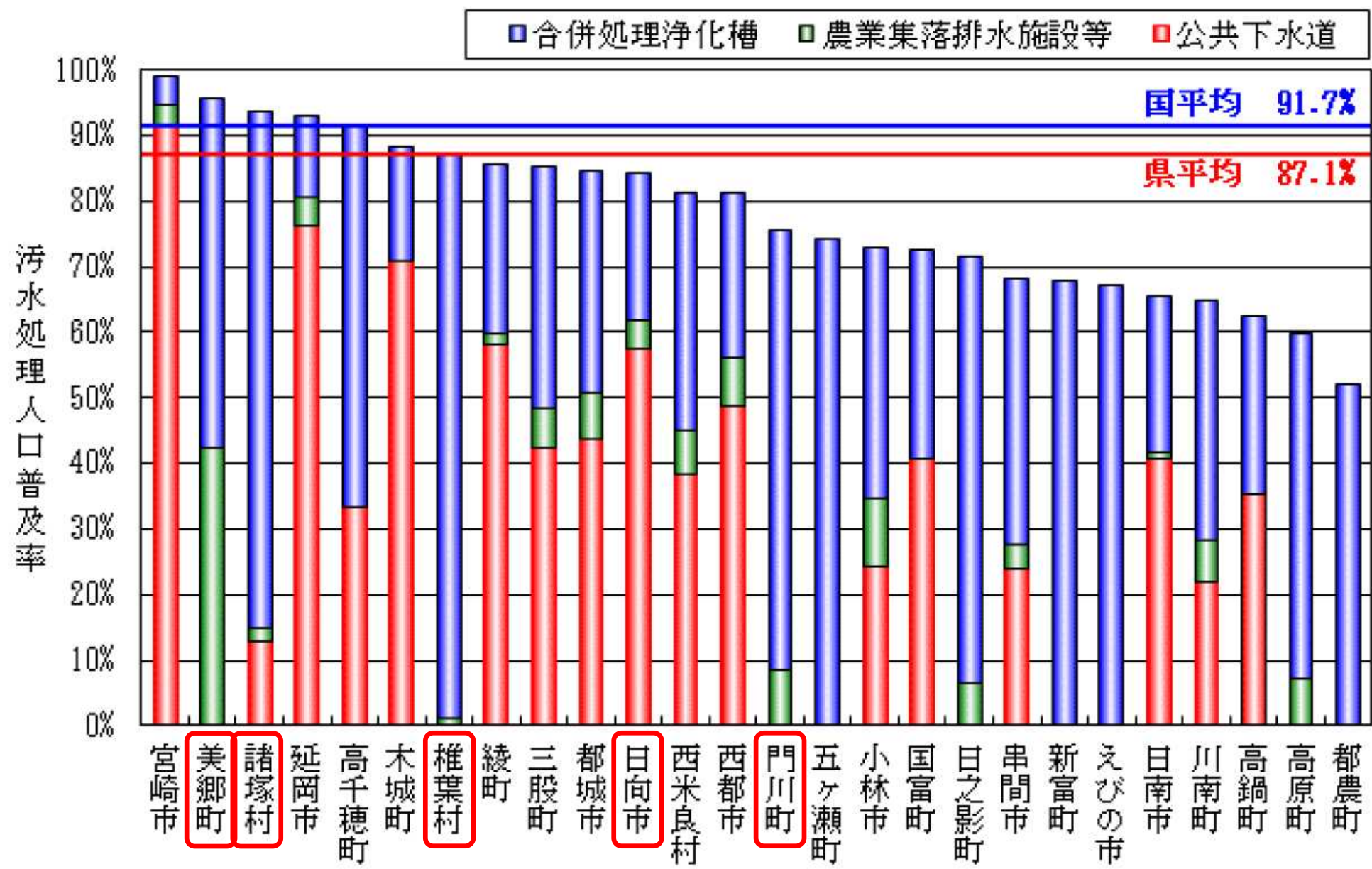
### ◆環境保全のために行動する人づくり

- 環境教育の推進
- 環境保全活動の推進

### ◆環境と調和した地域・社会づくり

- 環境にやさしい地域・産業づくり
- 快適な生活空間の創出

# 令和元年度末 市町村別 汚水処理人口普及率





# 浄化槽の適切な維持管理の啓発

## ○浄化槽設置者講習会

- ・日向保健所
- ・毎月第2火曜日

14時から15時まで

新たに浄化槽を設置される方を対象に、浄化槽に関する正しい知識の普及啓発を行ない適切な浄化槽維持管理に役立てることを目的として開催しています。

## ○「浄化槽の日」キャンペーン

- ・サンシールさの（門川町）
- ・令和4年10月6日（木）

10月の「浄化槽適正管理推進月間」に合わせて、県・市町村・浄化槽関連業界等が一体となって、啓発グッズ及びチラシを配布し、浄化槽適正管理に係る啓発活動を実施しております。—64—

〈宮城県・宮崎市指定講習会〉

## 令和5年度 浄化槽設置者講習会

**目的** 浄化槽に関する手続きや、施工及び維持管理等について理解していただくために実施するものです。

**受講対象者** 浄化槽の設置を予定している者  
(代理者による受講は、同居成人に限ります。)

**時間** 受付：午後1時30分～午後2時 講習：午後2時～午後3時

**開催場所及び日程**

開催場所	開催月日											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央保健所 (宮城県宮崎市)	13(水) 11(木)	8(水)	13(水)	10(水)	14(水)	12(水)	9(水)	14(水)	11(水)	8(水)	14(水)	
日南保健所	18(水)	16(水)	20(水)	18(水)	22(水)	19(水)	17(水)	21(水)	19(水)	16(水)	20(水)	19(水)
都城保健所	7(水)	12(水)	2(水)	7(水)	4(水)	1(水)	6(水)	2(水)	1(水)	5(水)	2(水)	1(水)
	28(水)	26(水)	23(水)	28(水)	25(水)	22(水)	27(水)	24(水)	22(水)	26(水)	22(水)	22(水)
小林保健所	12(水)	10(水)	14(水)	12(水)	9(水)	13(水)	11(水)	8(水)	13(水)	10(水)	14(水)	13(水)
高鍋保健所	14(水)	19(水)	9(水)	14(水)	18(水)	8(水)	13(水)	10(水)	8(水)	12(水)	9(水)	8(水)
日向保健所	11(水)	9(水)	13(水)	11(水)	8(水)	12(水)	10(水)	14(水)	12(水)	9(水)	13(水)	12(水)



# 水辺環境調査の実施状況

子どもたちに身近な環境のことをもっと知っていただくため、「水辺環境調査」と併せて、水辺環境の総合学習である「水辺の学習」の普及にも努めています。

令和4年度は、小学校4校計114名の児童に対して、川の役割や森林の働きなどを学習する「事前学習」、小学校6校計181名の児童に対して、実際に川に出かけて野外調査する「水辺環境調査」を実施しました。

市町村名	学校名	人数	場所（河川）
塩見小学校	日向市	19	奥野川
寺迫小学校	日向市	11	石並川
美々津小学校	日向市	14	石並川
平岩小中学校	日向市	17	馬溝川
財光寺南小学校	日向市	72	赤岩川
五十鈴小学校	門川町	48	五十鈴川



6 学校

181名





不法投棄防止啓発キャンペーン

## フロン類は強力な温室効果ガスです!

約50t-CO<sub>2</sub>

**エアコン1台分**  
ビル用パッケージエアコン  
1台に含まれるフロンは約20kg

CO<sub>2</sub>換算で

**レジ袋 約150万枚分**

**乗用車 日本40周分** の温室効果

レジ袋の原料採掘・製造、輸送、廃棄処理に伴って排出されるCO<sub>2</sub>を1枚33gCO<sub>2</sub>として計算

ガソリンの排出係数2.3kgCO<sub>2</sub>/L、ガソリン乗用車の平均燃費22.4km/L、日本一周約12,000kmとして計算



環境の日キャンペーン

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースhipで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です